

事務事業名		国保連合会運営・委託事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進				事業期間		予算科目				
	施策名	17 生涯にわたる健康づくりの推進						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	03 国民健康保険の充実				☐ 単年度のみ		10 10	01 02	01 01	02 05	00 00
根拠法令		国民健康保険法第83条				☒ 単年度繰返 (開始 年度～)						
所属	部課名	生活福祉部国保年金課				☐ 期間限定複数年度						
	課長名	今野芳彦				【計画期間】						
	係名	国保係	電話	0192-27-3111		年度～ 年度						
	担当者	武田貴子	内線	143		※全体計画欄の総投入量を記入						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
国民健康保険団体連合会(国保連)の維持運営に係る保険者負担及び診療報酬の審査および支払業務の委託事業。 主な業務は、 ① 10.1.1.2.0 国保連維持、運営にかかる経費について、保険者の規模等に応じて負担するもの。 ② 10.2.1.5.0 診療報酬の審査・点検、一括支払事務を委託するもの。 となっている。												
全体計画(※期間限定複数年度のみ)												
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金										
		都道府県支出金										
		地方債										
		その他										
		一般財源										
		事業費計(A)	0									
		人件費	正規職員従事人数									
人件費	延べ業務時間											
	人件費計(B)	0										
	トータルコスト(A)+(B)	0										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標			
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ① 総会で決定した負担金の支払い。 ② 診療報酬の審査支払業務委託 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様	➡	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
		名称	単位
		ア 総会出席回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 岩手県国保連	➡	イ 審査・支払委託件数	件
		ウ	
		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 国保連の安定的な運営に資する。	➡	名称	単位
		カ 国保連数	団体
		キ 被保険者数	人数
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 国保連の安定的な運営と、診療報酬の適正かつ効率的な支払いにより、医療費の適正化が図られ、もって被保険者が安心して医療を受けられる環境に資する。	➡	ク	
		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		サ 国保連合会決算	千円
		シ 審査・支払委託件数	件
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円							
		地方債	千 円							
		その他	千 円							
		一般財源	千 円	8,017	6,211	6,974	7,262	7,000	7,000	
		事業費計 (A)	千 円	8,017	6,211	6,974	7,262	7,000	7,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	4	4	4	4	4	19	
		人件費計 (B)	千 円	16	16	16	16	16	76	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	8,033	6,227	6,990	7,278	7,016	7,076	
⑤活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	3		
	イ	件	217,081	217,925	204,884	202,840	200,810	198,800		
	ウ									
⑥対象指標	カ	団体	1	1	1	1	1	1		
	キ	人数	13,878	12,727	11,715	11,825	11,680	11,540		
	ク									
⑦成果指標	サ	千円	61,208	53,741	60,000	60,000	60,000	60,000		
	シ	件	217,081	217,925	204,884	202,840	200,810	198,800		
	ス									

事務事業ID	0099	事務事業名	国保連合会運営・委託事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 国保法に基づき、国保事業の円滑な推進に寄与するため、国保の保険者が共同して設立した。また制度上、診療報酬の審査支払は、国保に関しては国保連が一括して行うこととなっているものである。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 診療報酬の審査支払のほか、共同事業の拡大、国保制度の広報宣伝、保険者が行う保険事業への援助など、国保連の果たすべき役割は重要性を増してきている。一方で施設の老朽化や利用者の減少により、被保険者向け保養施設や国保会館の宿泊部門廃止など、健全経営に向けた努力がなされている。また、審査支払業務については、東日本大震災の影響で被保険者数や受診件数の増減することにより、処理件数が変動している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 国保事業の目的である保険給付事業における中核的役割を果たしている国保連の維持費の負担である。レセプトを審査することにより医療費の適正化が図られ、国保事業の財政運営の健全化に寄与する。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 他の保険者との調整、全国各地の医療機関からの請求の集約、専門家による審査等、国保医療給付全般にわたる事業を実施している組織への負担金拠出事業であり、すべての国保保険者が共同で実施しているものである。また、診療報酬の審査支払は、国保制度上国保連で行うこととなっているものである。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 当市も会員として参画する総会等における民主的議論を経て、適正な事業規模を確保している。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 常に効果的事業推進について、総会等において加入している保険者が方向性を議論するなど、国保連内でその成果の向上に向け取り組んでいる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 国保連は、国保制度上保険者が設立すると位置づけられているものであり、国保制度が維持される限り、休・廃止はありえないものである。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 国保連以外に同業務を遂行できる機関はない。現在社会保険診療報酬支払基金との統合が国において検討されているが、国保連に集約する方向で話し合われている。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 県内全保険者の総意により定められる負担額であり、1保険者の判断により削減できるものではない。なお、国保連内では電算処理の改善等コスト削減に努めており、負担金の単価は毎年少しずつではあるが低減してきている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 事務内容は、請求額の確認と支払事務及び予算決算事務のみであり削減の余地は無い。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 国保事業全体に資するものであり、不公平は無い。

事務事業ID	0099	事務事業名	国保連合会運営・委託事業
--------	------	-------	--------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 国保制度における審査支払等を行う唯一の機関であるが、年数回行われる総会において、経営状況を審議するとともに、負担額等の適正性についても検証し、費用の適正化に努めている																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 今後も継続して適切な事業実施に努める。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特に無し																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	国保年金課長	今野芳彦
-------	--------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(3) 評価結果の根拠と理由 国保事業の効果的・効率的な運営のために必要な事業である。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 県内各市と連携を図りながら、今後も継続して実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
